

Crossroads



《個人懇談会で公立受検校決定》

今回の個人懇談会では、教育相談や私立高校の合否結果を踏まえた上で、公立高校の受検校を決定します。これまで通り過去の資料や実績をもとにアドバイスをさせていただきます。私立高校・専修学校も併せての志望順位をしっかりと確認しておいてください（進路便り72号参照）。

懇談会が終わった人から公立高校の願書の下書きを行います。先日の願書練習では、手本を示しておいたにもかかわらず、完璧に書いている人がほとんどいませんでした。以下の注意事項も読み、丁寧な文字で間違えずに書くようにしましょう。

【出願書類の確認】

出願書類は全て同じもので、第1志望・第2志望を1つの願書に書きます。願書の上には通番があり、原則取り替えはできません。また、勝手に切り取り線で切らないようにしましょう。

【柔らかめの鉛筆で記入】

下書きは、柔らかめの鉛筆（Bか2B）を使い、適度な筆圧で書くと良いと思います。硬い鉛筆やシャープペンシルを使った場合、清書の後に消しゴムで消しても書いた後が残ってしまうことがあります。

【表記上の注意事項】（手本例を参照）

- ・普通科のみ、「学区」・「群」を記入する。
- ・愛知商業，名古屋商業，緑丘商業，春日井工業は，「科」を「全」と記入する。
- ・瀬戸北総合は，「科」を「総合学」と記入する。
- ・瑞陵，守山などコース選択のある高校は，「コース選択希望票」を記入する。

【その他の注意事項】

- ・文字は楷書で丁寧に書くこと。その際、個人情報（現住所・保護者名など）を正確に記入すること。名前がひらがなの場合でも、全てにふりがなを書くこと。
- ・「保護者の住所」には「本人の欄に同じ」と書くこと。
- ・卒業見込は，「平成28年3月」。願書の日付は，「平成28年2月19日」とする。
- ・検定料封筒に1校受検 or 2校受検を記入し，おつりのないように現金を入れて持ってくる。